



日本薬剤疫学会を通じた ISPE 会員登録のご案内



2016.09 日本薬剤疫学会

毎年9月頃から年末にかけて日本薬剤疫学会（JSPE）の年会費の納入を会員にお願いしていますが、これにあわせて2010年から「日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録」についてもご案内させていただいています。

A. 日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録のメリット

A1. 年会費の減額：ISPE 年会費 \$250→\$200 に減額

A2. 国際薬剤疫学会学術集会（ICPE）などの登録料の減額の可能性：

ICPE など ISPE が開催する学術集会の登録料の減額はそれぞれの運営委員会に委ねられており不確定ですが、2016年の第32回 ICPE（アイルランド、ダブリン）の登録料については以下のような減額措置がとられました。

カテゴリ	7/13まで	7/13以後	On site
Industry	\$1110 (-\$125)	\$1210 (-\$175)	\$1410 (-\$325)
Academia/ Government	\$985 (±0)	\$1185 (-\$150)	\$1385 (-\$300)
JSPE	\$735	\$785	\$835

赤字は JSPE 会員(その所属が Industry か Academia/ Government かを問わない) に対する減額巾

ICPE の登録料に通常含まれる年会費（\$250）分を差し引いても、JSPE 会員（年会費は別途支払い）に対しては登録料が相当程度減額されました。

B. 国際薬剤疫学会（ISPE）会員のメリット

B1. Web を介した各種教育的資料の利用：

①ICPE の前日に行われる preconference courses、ICPE の全体セッション、シンポジウムなどを記録した資料（ビデオと PPT）が Web で 2016 年内に利用可能となり、② mid-year meeting（例：2017 年 4 月 ロンドン）の重要なセッションの記録も追加される予定です。③ISPE 主催の Webinar（1～2 ヶ月に 1 回程度実施される Web を介した 1 時間程度のセミナー、通常日本の深夜に開催）の記録（ビデオ）もご利用になれます。

B2. 上記「B1」資料の教育活動への活用：

ISPE では上記「B1」の一部（preconference courses のうち Introduction to Pharmacoepidemiology と Introduction to Pharmacovigilance および Webinar）を開発途上国における薬剤疫学教育などのために 2016 年内に一般公開する予定です。また「B1」の教育的資料のうち通常は会員限定のものについても会員からの要請により非会員に対する教育の場で利用を可能とする試みが予定されています。ISPE のもつ教育的資料のより広い活用を促進するためにも日本の ISPE 会員による積極的な利用が期待されます。

B3. その他： ISPE の会誌 Pharmacoepidemiology and Drug Safety（PDS）に掲載された論文のほか、ISPE 会員の連絡先を知るための”Member Directory”をご利用になれます。